

I 国際シンポジウム

(1) 第1回国際シンポジウム

テーマ 非文字資料とはなにか ～人類文化の記憶と記録～

開催日 2005年11月26日(土)・27日(日)

会場 横浜キャンパス16号館 セレストホール

第1日目 11月26日(土)

プログラム

開会挨拶 山火正則(神奈川大学学長)

主催者挨拶 福田アジオ(神奈川大学教授・COE拠点リーダー)

基調講演 川田順造(神奈川大学教授・COEサブリーダー)

「非文字資料から見る人類文化」

セッションI「記号と写実－19世紀後半メディアがもたらした衝撃－」

[コーディネーター]

- 北原糸子(神奈川大学非常勤講師・COE事業推進担当者)

[パネリスト]

- 原信田實(国際浮世絵学会会員・2003年度COE共同研究員)
「見えない都市－出来事を語る江戸の錦絵」
- セバスチャン・ドブソン(イギリス、写真歴史家)
「写真による日本に対してのまなざしの形成」
- コンスタンチン・グーバー(ロシア、ロシア海軍博物館チーフアーティスト)
「航海と発明の先達アレキサンダー・モジャイスキーが残した芸術と科学の遺産」

[コメンテーター]

- 渡辺俊夫(イギリス、ロンドン芸術大学トランスナショナル・アート研究所教授)
- 金子隆一(東京都写真美術館学芸課専門調査員・COE共同研究員)

セッションII「身体技法と祭祀芸能－祭祀者の動きと人形の動きから－」

[コーディネーター]

- 廣田律子(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

[パネリスト]

- 張勁松(中国、湖南省民間文芸家協会副主席)
「中国瑶族の祭祀者の身体技法」
- 田耕旭(韓国、高麗大学校民俗学研究所所長)
「韓国の祭祀芸能における身体技法」
- 大谷津早苗(昭和女子大学助教授)
「人形から見る身体技法」

[コメンテーター]

- 康保成(中国、中山大學教授)
- 山口建治(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

第2日目 11月27日(日)

セッションIII「民具と民俗技術」

[コーディネーター]

- 河野通明(神奈川県大学教授・COE事業推進担当者)

[パネリスト]

- 周星(愛知大学教授)
「中国民俗学は日本の民具研究から何を学ぶべきか」
- 尹紹亭(中国、雲南大学教授・人類学博物館館長)
「中国木製犁の形態と分布」
- 高光敏(韓国、済州大学校博物館学芸研究員)
「排泄の民俗と民具—済州島・韓半島・舟山島の比較」

[コメンテーター]

- 近藤雅樹(国立民族学博物館教授)
- 安室知(国立歴史民俗博物館助教授)

セッションIV「非文字資料の情報化と教育」

[コーディネーター]

- 的場昭弘(神奈川県大学教授・COE共同研究員)

[パネリスト]

- 白庚勝(中国、民間文芸家協会副主席)
「中国における文化遺産の保護について」
- ジュヌヴィエーヴ・ガロ(フランス、パリ国立文化遺産研究所校長)
「フランスにおける文化遺産の保護について」
- 能登正人(神奈川県大学助教授・COE共同研究員)
「オントロジー理論に基づく非文字資料のデータ化可能性の検討」

[コメンテーター]

- アラン＝マルク・リュ(フランス、リヨン第3大学教授)
- 橘川俊忠(神奈川県大学教授・COE事業推進担当者)

総合討論

[コーディネーター]

- 佐野賢治(神奈川県大学教授・COE事業推進担当者)

[各セッションの報告]

- セッションIコーディネーター:北原糸子(神奈川県大学非常勤講師・COE事業推進担当者)
- セッションIIコーディネーター:廣田律子(神奈川県大学教授・COE事業推進担当者)
- セッションIIIコーディネーター:河野通明(神奈川県大学教授・COE事業推進担当者)
- セッションIVコーディネーター:的場昭弘(神奈川県大学教授・COE共同研究員)

[討論]

[まとめ]

閉会挨拶

(2) 第2回国際シンポジウム

テーマ 画像・民具・景観 非文字資料から人類文化を読み解く

開催日 2006年10月28日(土)・29日(日)

会場 横浜キャンパス16号館 セレストホール

第1日目 10月28日(土)

プログラム

開会挨拶 山火正則(神奈川大学長)

主催者挨拶 福田アジオ(神奈川大学教授・COE拠点リーダー)

セッションI「非文字資料をめぐる方法論的諸問題」

[コーディネーター]

- 的場昭弘(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

[パネリスト]

- アラン＝マルク・リュ(フランス、リヨン第3大学教授)
「デジタル人類学・マルチメディア環境のためのデジタル資料」
- 的場昭弘(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)
「非文字資料はいかに認識されるかー知覚をめぐる哲学的諸問題ー」

[コメンテーター・司会]

- 橘川俊忠(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

セッションII「画像のなかの暮らしと文化ー日本と東アジアの近世」前半

[コーディネーター]

- 金貞我(神奈川大学COE教員)

[パネリスト]

- 福田アジオ(神奈川大学教授・COE拠点リーダー)
「生活絵引編纂の世界的意義」
- 田島佳也(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)
「『近世生活絵引』の作成に向けての試みー『農業図絵』を題材にしてー」
- 王正華(台湾、中央研究院近代史研究所研究員)
「17・18世紀中国における都市図、都市文化と風俗画の興隆」
- 金貞我(神奈川大学COE教員)
「韓国・朝鮮編絵引編纂と画像資料ー「平壤監司饗宴図」を例にしてー」

[司会]

- 西和夫(神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

セッションII「画像のなかの暮らしと文化ー日本と東アジアの近世」後半

[コーディネーター]

- 金貞我(神奈川大学COE教員)

[コメンテーター]

- ジョシュア・モスター(カナダ、ブリティッシュコロンビア大学教授)
- メラニー・トレーデ(ドイツ、ハイデルベルグ大学教授)

[司会]

- 西和夫（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）

閉会挨拶

第2日目 10月29日（日）

セッションIII「犁の形態比較から東アジアの民族移動に迫る」

[コーディネーター・司会]

- 河野通明（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）

[パネリスト]

- 渡部武（東海大学教授）
「中国の伝統犁とその技術移転」
- 金光彦（韓国、仁荷大学校名誉教授）
「韓国犁の形態と地域的特徴」
- 河野通明（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）
「日本犁に見られる朝鮮系・中国系とその混血型」

[コメンテーター]

- 尹紹亭（中国、雲南大学教授）

セッションIV「景観・空間編成分析における資料としての写真の可能性」

[コーディネーター・司会]

- 八久保厚志（神奈川県大学助教授・COE 共同研究員）

[パネリスト]

- 藤永豪（佐賀大学講師・元神奈川県大学 COE 研究員（PD））
「景観分析における資料としての写真の可能性」
- 浜田弘明（桜美林大学助教授・神奈川県大学 COE 教員）
「景観研究資料としての『渋沢フィルム』の今日的意味－韓国南部を例に－」

[コメンテーター]

- 鄭美愛（平成国際大学非常勤講師）
- 奥野志偉（神戸流通科学大学教授）

総合討論

[司会]

- 北原糸子（神奈川県大学非常勤講師・COE 事業推進担当者）

[パネリスト]

- 的場昭弘（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）
- 金貞我（神奈川県大学 COE 教員）
- 河野通明（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）
- 八久保厚志（神奈川県大学助教授・COE 共同研究員）

閉会挨拶

(3) 第3回国際シンポジウム

テーマ 場の記憶・からだの記憶 非文字資料研究の新地平

開催日 2008年2月23日(土)・24日(日)

会場 横浜キャンパス16号館 セレストホール

第1日目 2月23日(土)

プログラム

〈総合司会〉 西和夫(神奈川大学教授・COE サブリーダー)

開会挨拶 中島三千男(神奈川大学長)

主催者挨拶 福田アジオ(神奈川大学教授・COE 拠点リーダー)

セッションI 「マルチ言語版『日本常民生活絵引』の編纂刊行」

[コーディネーター]

- 前田禎彦(神奈川大学准教授・COE 事業推進担当者)

[パネリスト]

- 前田禎彦(神奈川大学准教授・COE 事業推進担当者)
「オリジナル版『生活絵引』の編纂とその意義」
- 君康道(東京大学大学院総合文化研究科講師・COE 共同研究員)
「マルチ言語版『生活絵引』の編纂とその意義」

[コメンテーター]

- 韓東洙(韓国、漢陽大学校建築大学教授)
- クリスティーナ・ラフィン(カナダ、ブリティッシュコロンビア大学助教授)

セッションII 「租界、神社の遺跡から過去の実態を読み解く試み」

[コーディネーター]

- 大里浩秋(神奈川大学教授・COE 事業推進担当者)

[パネリスト]

- 富井正憲(神奈川大学助教・COE 共同研究員)
「旧在華企業の居住環境—公大紡績住宅を中心に」
- 孫安石(神奈川大学准教授・COE 事業推進担当者)
「漢口日本租界と日本人—菊地洋氏の資料を中心に」
- 津田良樹(神奈川大学助手・COE 共同研究員)
「旧満州における神社のありよう」
- 三鬼清一郎(元神奈川大学教授・COE 共同研究員)
「倭城と近世城郭」

[コメンテーター]

- 李百浩(中国、武漢理工大学教授・武漢理工大学土木工程与建築学院院長)
- 蔡錦堂(台湾、国立台湾師範大学副教授・台湾史研究所所長)

セッションIII「インターネット・エコミュージアムの可能性

—地域研究と情報学の連携—

[コーディネーター]

- 佐野賢治（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）

<事例報告>

- 小野博（コンテンツ株）

「福島県只見町におけるインターネット・エコミュージアム」

[パネリスト]

- 佐野賢治（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）

「非文字資料と地域社会—地域統合情報発信システムとしてのインターネット・エコミュージアム—」

- 木下宏揚（神奈川県大学教授・COE 共同研究員）

「地域情報の統合化—民具データを事例にして—」

- 朽木量（千葉商科大学准教授）

「地域を博物館にすること—記憶という地域文化資産—」

- 柴山守（京都大学東南アジア研究所副所長）

「地域情報学の創出—ハノイ都市形成研究を事例にして—」

[コメンテーター]

- 尹紹亭（雲南大学教授）

「中国文化生態村の構想と実際から」

- 任章赫（韓国、韓国中央大学校副教授・文化財庁文化専門委員）

「韓国民俗村の実績と可能性から」

質疑応答

閉会挨拶

第2日目 2月24日（日）

<総合司会> 田上繁（神奈川県大学教授・COE 事務局長）

セッションIV「身体技法及び感性の資料化と体系化」

[コーディネーター]

- 廣田律子（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）

[パネリスト]

- 川田順造（元神奈川県大学教授・COE 共同研究員）

「身体技法及び感性の体系的資料化にむけて」

- 廣田律子（神奈川県大学教授・COE 事業推進担当者）・

海賀孝明（株わらび座チーフエンジニア）

「モーションキャプチャ技術と身体技法」

- 渡部信一（東北大学教授）

「民俗芸能の『わざ』はデジタルで伝わるのか？」

[コメンテーター]

- アルベール・ピアンヴニュ・アコハ（ベナン共和国、アボメ＝カラヴィ大学教授）
- 中村美奈子（お茶の水女子大学准教授）
- 小島一成（神奈川工科大学准教授）

セッションV「身体技法を展示する」

[コーディネーター]

- 中村ひろ子（神奈川大学 COE 教員）

[パネリスト]

- 中村ひろ子（神奈川大学 COE 教員）
「展示をつくるⅠ－研究成果発信装置としての可能性－」
- 青木俊也（松戸市立博物館学芸員・神奈川大学 COE 教員）
「展示をつくるⅡ－研究成果発信装置としての可能性－」

[コメンテーター]

- 笹原亮二（国立民族学博物館准教授）
- 村井良子（（有）プランニング・ラボ代表取締役）

質疑応答

総合討論

前半 国際シンポジウムのまとめ

〈司会〉 佐野賢治（神奈川大学教授・COE 事業推進担当者）

後半 COE プログラム全体についてのまとめ

〈司会〉 橘川俊忠（神奈川大学教授・COE サブリーダー）

閉会挨拶

II ワークショップ・公開研究会

（1）第1回国際シンポジウムプレシンポジウム

テーマ 版画と写真－19世紀後半出来事とイメージの創出－

開催日 2005年11月20日（日）

会場 神奈川大学横浜キャンパス16号館 セレストホール

プログラム

開会の辞

挨拶 中島三千男（神奈川大学副学長）

- 木下直之（東京大学教授）
「写真は出来事をどのようにとらえてきたか」
- 原信田實（国際浮世絵学会会員、2003年度 COE 共同研究員）
「浮世絵は出来事をどのようにとらえてきたか」
- 鈴木廣之（東京学芸大学教授、2005年度 COE 共同研究員）
「変貌する明治の図録」
- 増野恵子（早稲田大学非常勤講師、2004年度 COE 共同研究員）

「見える民族・見えない民族－『輿地誌略』の世界観－」

- 金子隆一（東京都写真美術館学芸課専門調査員、COE 共同研究員）

「内田九一の『西国・九州巡幸写真』の位置」

（２）第１班 「図像資料の体系化と情報発信」公開研究会

テーマ 図像から読み解く東アジアの生活文化

開催日 2005年12月10日（土）13：00～17：00

会場 神奈川大学横浜キャンパス 16号館 第2会議室

プログラム

挨拶 福田アジオ（神奈川大学教授、COE 拠点リーダー）

司会 鈴木陽一（神奈川大学教授、COE 事業推進担当者）

- 戴立強（中国、遼寧省博物館研究員）
「『清明上河図』と『姑蘇繁華図』」
- 馬漢民（中国、中国俗文学学会常務理事／副秘書長・蘇州市民間文芸協会名誉主席）
「蘇州の生活と民俗」
- 張長植（韓国、国立民俗博物館民俗研究科学芸研究官）
「朝鮮時代の仏画（甘露幀）にみる伝統娯楽の諸相」
- 金貞我（COE 共同研究員）
「都市図における風俗表現の機能」

（３）立命館大学・神奈川大学 21 世紀 COE プログラムジョイントワークショップ

テーマ 歴史災害と都市－京都・東京を中心に－

開催日 2006年8月26日（土）・27日（日）

会場 みなとみらい クイーンズタワーA 5階会議室

共催 立命館大学 21 世紀 COE プログラム「文化遺産を核とした歴史都市の防災研究拠点」
神奈川大学 21 世紀 COE プログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」

第1日 8月26日（土）

プログラム

1部 都市の歴史と災害復元

- | | |
|------------------|------------------|
| 「平安京の地形環境と災害」 | 河角龍典（立命館大学） |
| 「平安京の祭礼と災害」 | 片平博文（立命館大学） |
| 「公家町の火災と防災」 | 冷泉為人（財・冷泉家時雨亭文庫） |
| 「近世京都の火災と復興」 | 鈴木栄樹（京都薬科大学） |
| 「3次元でみる京都の景観と災害」 | 中谷友樹（立命館大学） |

第2日 8月27日(日)**2部 関東大震災と社会**

- 「関東大震災の写真と地図のデータベース」 諸井孝文(鹿島建設)・北原糸子(神奈川大学)
 「関東大震災の救済」 鈴木淳(東京大学)
 「関東大震災後の社会」 佐藤健二(東京大学)

3部 歴史災害と現代

- 「絵画を活用した防災—三河地震を素材として」 林能成(名古屋大学)・木村玲欧(名古屋大学)
 「文化財と災害痕跡」 桂雄三(文化庁)
 「日常生活のなかの災害認識」 香月洋一郎(神奈川大学)

4部 討論**(4) 神奈川大学 21世紀 COE プログラム若手研究者ワークショップ**

テーマ 手段としての「非文字」—資料と方法のあいだ—

開催日 2008年1月26日(土) 10:30~18:00

会場 神奈川大学 16号館 視聴覚ホール B

プログラム

開催のことば 山口建治(COE事業推進担当者、ワークショップ実行委員会委員長)

ワークショップの経緯、趣旨と構成

王京(COE研究員(PD)、司会、ワークショップ実行委員会委員)

セッション1: 絵画を読み解く

彭偉文(COE研究員(RA))「記録手段としての絵画—「姑蘇繁華図」に描かれた女性を例として」

佐々木弘美(COE研究員(RA))「絵画の構図をよむ—遍聖絵の場合」

セッション2: フィールドで考える

土田拓(COE研究員(RA))「調査写真の性格と用法—景観の中のコンクリートブロック」

樫村賢二(元COE研究員(PD))「調査写真の資料化—韓国のオートバイ宅配便調査を事例に」

宮本大輔(日本学術振興会特別研究員、元神奈川大学COE研究員(RA))

「非文字と言語—北京大学生の言語イメージを通して」

セッション3: 博物館から展望する

大西万知子(元COE研究員(RA))「感性を展示すること—英国と日本の事例から」

丸山泰明(元COE研究員(PD))「21世紀における博物館の可能性—北欧で考えた二、三のこと」

コメント

香月洋一郎(COE事業推進担当者)

北原糸子(COE事業推進担当者)

青木俊也(COE教員、松戸市立博物館学芸員)

総合討論

閉会のことば 土田拓(COE研究員(RA)、ワークショップ実行委員会委員)

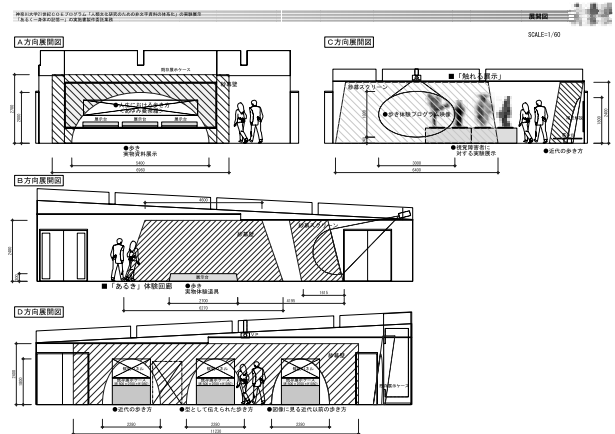
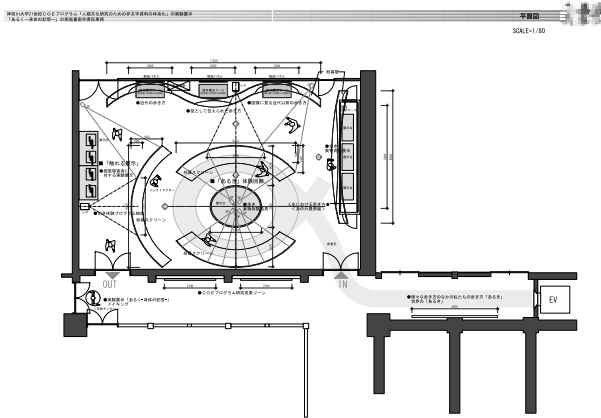
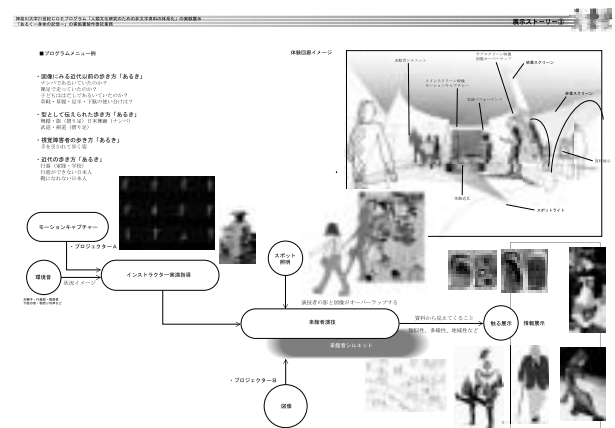
Ⅲ 展 示

(1) 企画展示

テーマ 浮世絵における常識と非常識—復刻版でみる『名所江戸百景』
 開催日 2005年11月18日(金)～30日(水) 23日(水・祝)は休室
 会場 神奈川大学横浜キャンパス3号館 常民参考室

(2) 実験展示

テーマ 実験展示「あるく—身体の記憶」
 開催日 2007年11月1日(木)～30日(金)
 2008年2月23日(土)・24日(日)
 会場 神奈川大学横浜キャンパス3号館 常民参考室



IV 全体研究会

2003年度（平成15年度）

- 2003年10月1日（第1回）北原糸子・原信田實「地震の痕跡と名所絵—『名所江戸百景』の新しい読み方」
齊藤隆弘「画像・動作情報のデジタル入力について」
- 2003年10月31日（第2回）川田順造「非文字資料の諸相とその研究法—人類学の立場からの問題提起—音文化、身体技法、道具、感性等の領域」
- 2003年12月5日（第3回）河野通明「身体技法・感性を手掛かりとした古代日本列島の多民族状況の検出の模索」
- 2004年1月31日（第4回）高橋郁夫（弁護士）「知的財産権に対する技術のチャレンジ」

2004年度（平成16年度）

- 2004年7月9日（第1回）増野恵子「明治前期のメディアと天皇肖像」
- 2004年9月29日（第2回）田口洋美「景観のモンタージュ—狩猟と農耕の織り成す世界—」
富澤達三「画像資料のデジタル化と歴史研究への活用」
- 2004年11月12日（第3回）落合一泰「絵画から写真へ—非西洋諸民族表象における変化と無変化」

2005年度（平成17年度）

- 2005年5月13日（第1回）各班リーダー「昨年度の総括と本年度活動目標について」
八久保厚志「『環境と景観の資料化と体系化にむけて』を発行して」
- 2005年7月8日（第2回）木下宏揚・木下慶子（調査研究協力者）「COEにおける非文字資料の共有と流通—福島県只見町のデータ化に向けて—」
佐野賢治「資料のコラボレーションから資料館建設まで—飯豊山信仰展示を事例として—」

2006年度（平成18年度）

- 2006年4月21日（第1回）各班からの昨年度研究成果報告
- 2006年6月30日（第2回）孫安石・富井正憲・大里浩秋「租界と居留地に刻印された人間活動の営み」
津田良樹・中島三千男「環境に刻印された人間活動の痕跡解読—朝鮮の神社跡地を中心に」
- 2006年9月29日（第3回）山口建治「祓いの身体技法と人形」
夏宇継「東巴求寿儀礼について」

- 廣田律子「モーションキャプチャを応用した芸能比較研究」
- 2006年11月10日（第4回） 君康道・前田禎彦「マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』
編纂の現状と問題点」
- 2006年12月22日（第5回） 香月洋一郎「手段としての写真－「濫澤写真」の追跡調査から」
- 2007年2月16日（第6回） 佐野賢治「インターネット・エコミュージアムの可能性」
- 2007年度（平成19年度）
- 2007年4月20日（第1回） 各班・課題からの昨年度研究成果報告
- 2007年6月29日（第2回） 的場昭弘「ポール・リクール『記憶・歴史・忘却』を読む－非文字
資料の理論化に向けて－」
- 2007年9月28日（第3回） 王京「関東大震災と航空写真」
- 2007年11月9日（第4回） 國弘暁子「ブリティッシュコロンビアにおける先住民『ベルダーシュ』
に関する調査報告」
- 小野地健「クシャミと人類文化」
- 2007年12月21日（第5回） 堀内寛晃「『海外神社』跡地に関するデータベース構築」
- 上田純広「関東大震災・地図と写真データベース」構築に関する新手法」
- 西田幸夫「関東大震災における火災被害の可視化」
- 孫安石「租界とアジアデータベース作成の中間報告」

V 各班・課題研究会

(1) 1班研究会

2003年度

2003年 9月19日	窪田涼子	「『絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂について」
2003年10月15日	西和夫	「新版『日本常民生活絵引』編纂作業について」
	ジョン ボチャラリ	「『日本常民生活絵引』の英訳の試みについて」
2003年12月 5日	金貞我	「『日本常民生活絵引』英語訳の試みとその問題点」
2004年 1月31日	富澤達三	「図像資料のデジタル化」
2004年 3月11日		『絵巻物による日本常民生活絵引』のマルチ言語版の編纂刊行について
2004年 3月26日		東アジア生活絵引の編纂について
	金貞我	「韓国版「常民生活絵引」編纂のための研究計画案」
2004年 3月29日		近世・近代生活絵引の編纂について
	金貞我	「英語版『絵巻物による日本常民生活絵引』制作のための絵巻作品の再編成」

2004年度

2004年 4月 2日		『絵巻物による日本常民生活絵引』のマルチ言語版の編纂刊行について
2004年 4月 5日		東アジア生活絵引の編纂について
2004年 4月 9日		近世・近代生活絵引の編纂について
	富澤達三	「近世・近代の蝦夷・琉球の庶民生活画像資料について」
2004年 5月14日		近世・近代生活絵引の編纂について
	福田アジオ	「生活絵引類似本の検討」
	金貞我	「近世初期風俗画の紹介と図像資料への活用について」
2004年 5月21日	西和夫・福田アジオ・	「『絵巻物による日本常民生活絵引』のマルチ言語版の編纂刊行について」
	佐々木睦	
2004年 6月25日	金貞我	「徐揚筆『姑蘇繁華図』について」
	佐々木睦	「清末絵入り新聞についての覚え書き」
2004年 7月 9日	田島佳也	「東アジア版生活絵引の編纂について」
2004年 7月23日	中村ひろ子・	「『絵巻物による日本常民生活絵引』のマルチ言語版の編纂について」
	ジョン ボチャラリ・	
	菊池勇夫	
2004年 9月14日	君康道・	「『絵巻物による日本常民生活絵引』のマルチ言語版の編纂について」
	ジョン ボチャラリ	
2004年 9月24日	田島佳也	「近世・近代の『常民生活絵引』の試作本の作成について」
	中村ひろ子	「近世・近代生活絵引」の編纂について」
	富澤達三	「江戸名所図屏風」をテキストとして江戸初期の生活絵

		引を編む試み」
2004年10月20日	金貞我	「『日本常民生活絵引』 英語訳のための実例」
	ジョン ボチャラリ	「『絵巻物による日本常民生活絵引』 マルチ言語版の編纂について」
2004年11月10日	ジョン ボチャラリ	「『絵巻物による日本常民生活絵引』 マルチ言語版の編纂について」
2004年12月 3日	佐々木睦	「『姑蘇繁華図』 の編纂について」
	金貞我	「『朝鮮版生活絵引』 試作本の作成」
2005年 1月12日	ジョン ボチャラリ	「『絵巻物による日本常民生活絵引』 の英訳成果」
2005年 1月21日	菊池勇夫	「アイヌ・北方史関係の絵引試案本に向けて」
~22日		「戦後生活再現展示に関する問題」
2005年 1月31日	佐々木睦	「遼寧省博物館訪問についての報告」
		『姑蘇繁華図』 図像抽出作業
2005年度		
2005年 4月 4日	ジョン ボチャラリ	「昨年度の英語翻訳作業の経過と問題点」
2005年 4月15日		今年度の東アジア生活絵引の編纂のための図像読み取り作業
2005年 5月25日		『常民生活絵引』 のマルチ言語版の編纂のための翻訳成果の検討
2005年 6月 6日	佐多芳彦 (大正大学・立正大学非常勤講師)	「データベース構築を前提とした肖像画の画面記述について—有職故実学の立場から—」
2005年 6月10日	菊池勇夫・田島佳也	「東アジア生活絵引の編纂および日本近世・近代生活絵引編纂」
2005年 6月29日		『常民生活絵引』 マルチ言語版の編纂
2005年 7月13日		各課題の進捗状況検討
2005年 8月 2日		研究会
2005年 8月19日		研究会
2005年 9月28日		研究会
2005年12月10日		公開研究会 「図像から読み解く東アジアの生活文化」
	福田アジオ	
	鈴木陽一	
	戴立強 (中国、遼寧省博物館研究員)	「『清明上河図』 と『姑蘇繁華図』」
	馬漢民 (中国、中国俗文学学会常務理事)	「蘇州の生活と民俗」
	張長植 (韓国・国立民俗博物館民俗研究科学芸研究官)	「朝鮮時代の仏画 (甘露幀) にみる伝統娯楽の諸相」
	金貞我	「都市図における風俗表現の機能」

2006年 1月25日		各課題の進捗状況と今後の計画
2006年 3月 6日		公開研究会「『洛中洛外図屏風』を読む」
	①鈴木陽一	①「『姑蘇繁華図』と『点石斎画報』」
	②田島佳也	②「『江差浜鯉漁之図』を読む」
	③横田冬彦（京都橘大 学教授）	③「『洛中洛外図屏風』を読む」
2006年 7月21日	福田アジオ 前田禎彦 菊池勇夫 鈴木陽一 藤原重雄	各課題の進捗状況の報告と検討 公開研究会「『絵巻物による日本常民生活絵引』と中世史 研究—『絵引』の遺産継承の観点から」
2006年 8月17日		1班全体研究会
2006年12月 6日	前田禎彦 鈴木陽一 金貞我 田島佳也 福田アジオ	各課題の進捗状況の報告と検討 「何故常民生活絵引でなく、単なる生活絵引なのか」

(2) 1班課題1 「マルチ言語版『絵巻物による常民生活絵引』の編纂刊行」研究会

2006年度

2006年 5月10日	校閲作業
2006年 5月24日	打合せ、校閲作業
2006年 6月21日	校閲作業
2006年 7月 5日	校閲作業
2006年10月 4日	校閲作業
2006年10月18日	校閲作業
2006年11月 1日	校閲作業
2006年11月15日	校閲作業

2007年度

2007年 4月 9日	研究会
2007年 7月25日	研究会
2007年 7月31日	研究会

(3) 1班課題2 「『近世・近代生活絵引』の編纂」研究会

2006年度

2006年 6月24日	研究会
2006年 8月17日	研究会
2006年 9月 1日	研究会

2006年12月 1日		研究会
2006年12月16日	菊池勇夫・田島佳也	公開研究会 「人びとの暮らしと生業—『日本近代生活絵引』作成への問題点をさぐる—」 「菅江真澄がみたコタンの景観」 「土屋又三郎『農業図絵』に描かれた城下金沢と近郊村に生活する人びと」 「江差浜における鯨漁と加工に勤しむ人びと—『江差浜鯨漁之図』から—」
2006年12月17日		研究会
2007年 1月20日		研究会
2007年 2月 4日		研究会
2007年 2月24日		研究会
2007年 3月 8日		研究会
2007年度		
2007年 5月 1日		研究会
2007年 5月27日		研究会
2007年 6月10日		研究会
2007年 7月 4日		研究会
2007年 7月16日		研究会
2007年 7月28日		研究会
2007年 8月24日		研究会
2007年 9月 2日		研究会
2007年10月 1日		研究会
2007年10月 8日		研究会
2007年11月13日		研究会

(4) 1班課題3 「『東アジア生活絵引』の編纂」研究会

2006年度		
2006年 4月22日		打合せ
2006年 6月26日	三山陵（日本民藝館 共同研究員）	研究会「中国民間版画に見る庶民生活—清末民国初期を中心—」
2006年 7月22日	武田雅哉（北海道大学 文学部教授）	研究会「楊貴妃になりたかった男たち—『点石斎画報』に見る〈女装くん〉」
2006年 8月 9日		会議
2006年 9月 6日		研究会
2006年 9月21日		研究会
2006年10月17日		研究会
2006年11月18日		研究会

2006年12月15日	小川陽一（東北大学 名誉教授）	公開研究会「明清期の生活文化図像資料としての善書—と くに『太上感應篇図説』—」
2006年12月19日		研究会
2007年1月16日		研究会
2007年2月2日		研究会
2007年2月26日		研究会
2007年3月6日		研究会
2007年3月15日		研究会
2007年度		
2007年4月7日		研究会
2007年4月17日		研究会
2007年4月27日		研究会
2007年5月11日		研究会
2007年6月1日		研究会
2007年6月9日		研究会
2007年6月23日		研究会
2007年7月4日		研究会
2007年7月23日		研究会
2007年7月27日		研究会
2007年8月18日		研究会
2007年8月19日		研究会
2007年10月8日		研究会
2007年10月13日		研究会
2007年10月20日		研究会
2007年11月17日		研究会
2008年1月6日		研究会

(5) 2班研究会

2003年度

2003年9月10日	川田順造	「身体技法、感性把握、道具と人間の動作について」
2003年10月22日	河野通明	「『身体技法』を手がかりとした日本列島の多民族情況の 復原の模索について」

2004年度

2004年7月9日		調査概況
2004年11月12日		研究会

2005年度

2005年4月27日	川田順造	「人力運搬の方法、回転道具の回転方向など、道具と身体 技法についての問題提起」
2005年5月25日	河野通明	「非文字資料の体系化をめぐる川田流と河野流」

2005年 7月20日	廣田律子	「モーショキャプチャを使っ ての演技の比較への取 り組み」
2005年 9月28日		研究会
2005年10月 5日		研究会
2005年10月19日	川田順造	「感性の領域研究のため の予備的考察」
2006年度		
2006年 5月24日		会議
2006年12月 6日		会議
2007年度		
2007年 4月20日		会議
2007年 5月23日		会議

(6) 3班研究会

2003年度

2003年11月11日	三鬼清一郎	「倭城・倭館・合戦図—朝鮮半島における日本関係建造物をめぐって—」
	須山聡	「澁澤敬三のまなざし」
	香月洋一郎	「方法としての景観に向けて」
2003年12月16日		「漢城・京城・ソウル—南山を中心として—」
	富井正憲	「景観変化に関する地理学的分析と分析手法についての研究(案・構想)—」
	八久保厚志	「アチック・ミュージアムに残された景観資料を起点として—」

2004年度

2004年 5月14日		平成15年度年報合評会
2004年 6月 8日	浜田弘明	「景観を記録し保存すること」
	増野恵子	「明治中期のマスメディアに現われた天皇肖像について」
2004年 9月13日		環境としての海・資源としての海—アワビ・ワカメ・イリコ(煎海鼠)—
	①香月洋一郎	①現代における素潜り漁法—上五島を中心に—
	②李善愛(宮崎公立大学)	②海女の移動と環境—韓国ワカメ漁場利用をとおして—
	③赤嶺淳(名古屋市立大学)	③ナマコをめぐる国際環境と生産地の動向
2004年11月26日	竹内啓一(元人文地理学会会長・一橋大学名誉教授)	「地理学における景観—風景概念の変遷と問題点—」

(7) 3班課題1 「景観の時系列的な研究」研究会

2006年度

2006年 5月10日 久田肇 「写真、絵画資料の著作権について—出版の現場から」

(8) 3班課題2 「環境認識とその変遷の研究」研究会

2006年度

2006年 8月10日 宗臺秀明（鶴見大学・研究会（講演会・報告会）「鎌倉・前浜—職能民のいる風
神奈川大学非常勤講師）景」、（中間報告）「中世都市鎌倉の景観・環境を復原する
河野真知郎（鶴見大学 ための基礎データ収集」
教授）、鈴木弘太（鶴見
大学大学院博士後期）

2006年10月13日 田鳳熙（ソウル大学校 研究会「韓国の多島海を写した「濫澤写真」について」
工科大学副教授）

2007年度

2007年 4月 6日 打合せ

2007年 4月18日 研究会

2007年 6月15日 会議

2007年 6月19日 打合せ

(9) 3班課題3 「環境に刻印された人間活動および災害の痕跡解読」研究会

2006年度

2006年 6月14日 会議

2006年 7月 8日 野村優夫（NHK・ 科研「東アジアメディア産業研究」共催「『音』という非
日本放送協会アナ 文字資料を考える」、「満州国ラジオ録音盤の発見について
ウンサー） —『音』という非文字資料」

(10) 4班研究会

2004年度

2004年 4月23日 佐野賢治 「“非文字資料”と地域社会—福島県只見町の民具保存活用
運動—」

フレデリック・ 「中国雲南省麗江納西族東巴文化についての調査報告」
ルシーニュ

2004年 5月21日 宇佐見義之 「『バーチャル地球史博物館—生物進化史展示の試み—」
展示解説」

2004年10月29日 「情報発信の場としての博物館：“個別”と“普遍”—ヨー
ロッパ博物館事情—」

①佐野賢治、中村政則 ①オーストリア・ドイツの民俗系博物館

②的場昭弘、橘川俊忠、 ②フランスの博物館・美術館

能登正人

	③中村ひろ子、 青木俊也、金貞我	③ I C O Mソウル大会参加記
2005年 2月21日	青木俊也	「戦後生活再現展示に関する問題」
2005年 3月11日		研究会
2005年度		
2005年 5月12日	木下慶子（工学部木下研究室）	「非文字資料による情報資源と情報流通の管理」
2005年 7月 1日	水嶋英治（常磐大学教授）	「大学院における博物館学教育」

(11) 4班（2005年12月以降）研究会

2005年度		
2005年12月 6日	小野博（コンテンツ株式会社）	「只見地区における高精度デジタル画像データ化の試み」
2006年 3月16日	野間晴雄（関西大学文学部教授）	公開研究会「水田の認識と多機能性の複合類型試論—稲作の起源と執着をめぐって—」
2006年度		
2006年 5月19日		打合せ
2006年 7月14日	フレデリック ルシー ニユ	合同会議「只見町研究調査」
2006年 8月28日	佐々木長生	公開研究会および班会議「非文字資料としての会津農書」
2006年11月29日		打合せ
2007年度		
2007年 4月24日		打合せ
2007年 5月31日	小野博（コンテンツ株式会社） 佐野賢治、小松大介、 フレデリック ルシー ニユ	研究会「只見町インターネット・エコミュージアムのコンテンツ構想」、「地域情報のコンテンツ化」
2007年 6月19日		打合せ

(12) 5班研究会

2006年度		
2006年 4月24日		班会議「実験展示の基本的な理念をめぐって」
2006年 5月17日	青木俊也、榎美香 中村ひろ子、浜田弘明	班会議「展示構想の具体化をめぐる課題について」
2006年 6月21日	青木俊也	班会議「身体の記憶—非文字資料の世界—」展示構想案について」

2006年 7月12日		班会議
2006年 7月26日	鷹野光行（お茶の水女子大学教授）	公開研究会「大学院における博物館学教育」
2006年 8月 8日		濫澤フィルム（DVD）上映、班会議
2006年 9月 5日		班会議
2006年10月 6日		班会議
2006年10月23日	村井良子（プランニング・ラボ代表取締役）	公開研究会「展示評価をめぐって」
2006年11月 6日		班会議
2006年11月21日		研究会「高度専門職学芸員養成プログラムの策定について」
2006年12月18日		研究会
2007年 1月29日	北村彰（日展博学支援室室長）	班会議、公開研究会「展示の現在」
2007年 3月12日	瀧端真理子（追手門学院大学助教授） 井上敏（桃山学院大学助教授）	班会議、公開研究会「学芸員の専門性をめぐって」、第1回「今後の学芸員養成と博物館学の方向性」
2007年 3月22日	青木俊也、中村ひろ子 乃村工芸	展示部会
2007年 3月26日	犬塚康博（愛知文教大学国際文化学部非常勤講師） 金子淳（パルテノン多摩学芸員） 竹内有里（長崎歴史文化博物館研究員）	班会議、公開研究会「学芸員の専門性をめぐって」、第2回「今後の博物館活動と博物館学の方向性」
2007年 3月29日	青木俊也、中村ひろ子 乃村工芸	展示部会
2007年度		
2007年 4月 2日		展示部会
2007年 4月10日		会議
2007年 5月16日		会議
2007年 6月11日	青木俊也、中村ひろ子 福田アジオ	展示部会
2007年 6月12日	浜田弘明、福田アジオ 中村ひろ子	学芸員養成プログラム部会
2007年 6月20日		研究会
2007年 7月 3日	福田アジオ	学芸員養成プログラム部会

2007年 7月 6日	中村ひろ子、浜田弘明 廣田律子、福田アジオ	展示部会
2007年 7月 9日	中村ひろ子、青木俊也 青木俊也、中村ひろ子	展示部会
2007年 8月23日	乃村工芸 浜田弘明、福田アジオ	学芸員養成プログラム部会
2007年 9月14日	田上繁、中村ひろ子 青木俊也、中村ひろ子	展示部会
2007年10月 8日	福田アジオ	研究会

(13) 6班研究会

2006年度

2006年 4月12日		打合せ
2006年 6月16日	廣田律子	「モーションキャプチャを使った芸能の記録化及び比較研究の試み」
	田島佳也	「近世近代生活絵引編纂について」
2006年 7月14日	佐野賢治	合同会議「只見町研究調査」
2006年 9月22日	香月洋一郎、 八久保厚志	「これまでの3班の作業と分解後の動向」
2006年11月17日	的場昭弘	「博物館のあり方、ブランリ美術館」
2007年 3月16日		「最終報告書作成にあたって」

2007年度

2007年 6月15日		研究会
-------------	--	-----